

2021年8月20日



# 一般社団法人 日本スーパーマーケット協会

## 2021年7月 マンスリー レポート

集計企業数 **50** 社

### ① 売上高・前年同月比

	全店			既存店	
	売上高	構成比(前月)	前年同月比(前月)	売上高	前年同月比(前月)
総 額	63,064,639 万円	100.0%	100.6% (99.6%)	61,491,943 万円	99.6% (98.7%)
食 料 品	54,601,470 万円	86.6% (86.9%)	101.4% (101.7%)	53,173,695 万円	100.1% (100.5%)
農 産	7,833,567 万円	12.4% (13.2%)	96.8% (100.5%)	7,629,417 万円	95.6% (99.3%)
水 産	5,187,611 万円	8.2% (7.9%)	98.0% (100.8%)	5,033,646 万円	96.6% (99.3%)
畜 産	6,652,509 万円	10.5% (10.8%)	97.8% (98.9%)	6,483,121 万円	96.4% (97.4%)
惣 菜	6,645,192 万円	10.5% (10.3%)	108.3% (108.2%)	6,447,960 万円	106.6% (106.7%)
日配食品	12,559,007 万円	19.9% (19.9%)	103.2% (101.0%)	12,240,635 万円	102.0% (99.8%)
加工食品	15,723,584 万円	24.9% (24.8%)	102.4% (101.9%)	15,338,915 万円	101.3% (101.1%)
生活関連	3,792,887 万円	6.0% (5.9%)	93.2% (90.3%)	3,702,597 万円	92.6% (89.6%)
衣 料 品	1,442,429 万円	2.3% (2.4%)	96.4% (79.8%)	1,425,151 万円	98.5% (81.2%)
そ の 他	3,227,852 万円	5.1% (4.8%)	99.6% (89.3%)	3,190,500 万円	100.5% (89.7%)

### ② 数 値

全店総売上高	63,064,639 万円	店舗数	5,014 店舗
総売場面積	9,930,915.4 m <sup>2</sup>	総従業員数	272,753 人
店舗平均月商	12,577.7 万円	平均客単価 (前年同月比)	2,057.7円 (99.3%)
月間m <sup>2</sup> 売上(前月)	6.4 万円 (6.1万円)	平均売場面積	1,980.6 m <sup>2</sup>
月間坪売上(前月)	21.0 万円 (20.3万円)	パート比率(前月)	76.4% (76.4%)

注) 総従業員数・・・パート・アルバイト数は、8時間換算しています

## 《 全体概況 》

- ・ 7月の天候について、気温は北日本でかなり高く、沖縄・奄美地方では低かった。降水量は、北日本でかなり少なく、東日本の太平洋側では大雨の影響でかなり多かった。日照時間は、北日本から東日本の日本海側にかけてかなり多くなり、沖縄・奄美地方では少なかった
- ・ 生鮮物の相場状況について、農産物では野菜全体が前年に比べて安値であった。果物については、りんご、なしが前年に比べて安値、メロン、すいかは高値で推移した。水産物は、総入荷量が前年に比べてやや増加、卸売価格は前年並みで推移した。畜産物では、牛肉・鶏肉は前年に比べて高値で推移、豚肉は前年並みであるものの、平年に比べて高値で推移した
- ・ 土・日・祝日の合計は11日で、前年と比べて土曜日が1日多かった
- ・ 新型コロナウイルス感染症の拡大により、7月12日より東京都に4回目の緊急事態宣言が発令され、既に発令されていた沖縄県の緊急事態宣言は8月22日まで延長された。また、埼玉県・千葉県・神奈川県・大阪府におけるまん延防止等重点措置は8月22日まで延長された
- ・ 商品動向全体では、気温の上昇によって夏物商材が好調に推移した一方で、野菜の相場安や牛肉・豚肉の相場高により、野菜および畜産が苦戦したとのコメントがみられた。また、オリンピック開催期間中は、酒類が好調であったとのコメントがみられた

## 《 商品動向 》

### ○農産

- ・ 野菜の相場安の影響により、キャベツやきゅうり、きのこ類、土物類は不調であった
- ・ 気温の上昇により、スイカが好調であった。また、梨やももは出荷が早まった影響により、好調に推移した
- ・ さくらんぼは不作の影響もあり、苦戦したとのコメントがみられた

### ○水産

- ・ うなぎ、かつおは好調であった
- ・ 刺身類は好調であったものの、切身や丸魚、冷凍魚は不調であった

### ○畜産

- ・ 相場高の影響により、豚肉、鶏肉は不調であった
- ・ 牛肉は相場高の影響で不調であったものの、用途別では焼肉用が好調であった
- ・ 気温の上昇により、生食用が好調であった

### ○惣菜

- ・ 気温の上昇により、冷やし中華や麺セットなど麺類が好調であった
- ・ フライ類は不調であった

### ○日配食品

- ・ 気温の上昇により、アイスクリーム、チルド麺が好調であった
- ・ 鶏卵、冷凍食品、デザート類が好調であった
- ・ 昨年の反動により、漬物、納豆は不調であった

### ○加工食品

- ・ 気温の上昇により、飲料・乾麺が好調であった
- ・ ビール類やノンアルコールを中心に酒類は好調で、オリンピック期間中に売上が伸びたとのコメントもみられた
- ・ 米、缶詰は不調であった

### ○土用の丑の日の動向について

- ・ 予約販売、当日販売ともに好調に推移し、特にうな重が好調であった
- ・ 地域によって、国産・中国産の好不調が分かれた

### ○お中元（夏ギフト）の動向について

- ・ カタログギフトは、概ね好調であった
- ・ お盆での帰省が難しいことから、地場商品が好調であったとのコメントがみられた